

堀切実委員からの御意見

- ・ 項目立てについて、生産、流通、需要の順番になっているが、花は食料品と異なり需要を作り出すことが最初にあり、それに合わせて生産という流れが適当。
- ・ 夏の高温で日持ちがしなくなり、このことが夏場に消費者の買い控えをする理由になっている。日持ちする生産も大事だが、コールドチェーンを含めた流通、販売対策に加え、出荷以降の高温耐性に関する品種・技術開発もお願いしたい。
- ・ 地球温暖化の影響で花の供給が2カ月ほどずれ、需要とのバランスが取れていない。
- ・ 販売データを基にした情報の分析・活用にはぜひ取り組みたい。
- ・ 需要について、テレビやマンガの影響が大きく、コンテンツ業界と連携していく必要。

加藤久美子委員からの御意見

- ・ 花の需要を喚起するために、業界一体となってキャンペーンをしていく必要がある。いけばな芸術協会では、6月6日を「いけばなの日」として記念日の登録をし、その年のテーマの花を決め、いけたものをSNSに投稿する取組を行っている。
- ・ 華道の無形文化財への登録についても認知を広めていく必要がある。
- ・ 物価高騰により、花の価格も上がっているが、日持ちのしない花では消費者が離れてしまうため、日持ちのする花を作ってほしい。
- ・ 高齢者施設での体験では、安全性にも配慮が必要。ハサミを使った体験だけでなく、花を見ることでも人を癒すことはできる。